

2020年3月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2020年5月12日

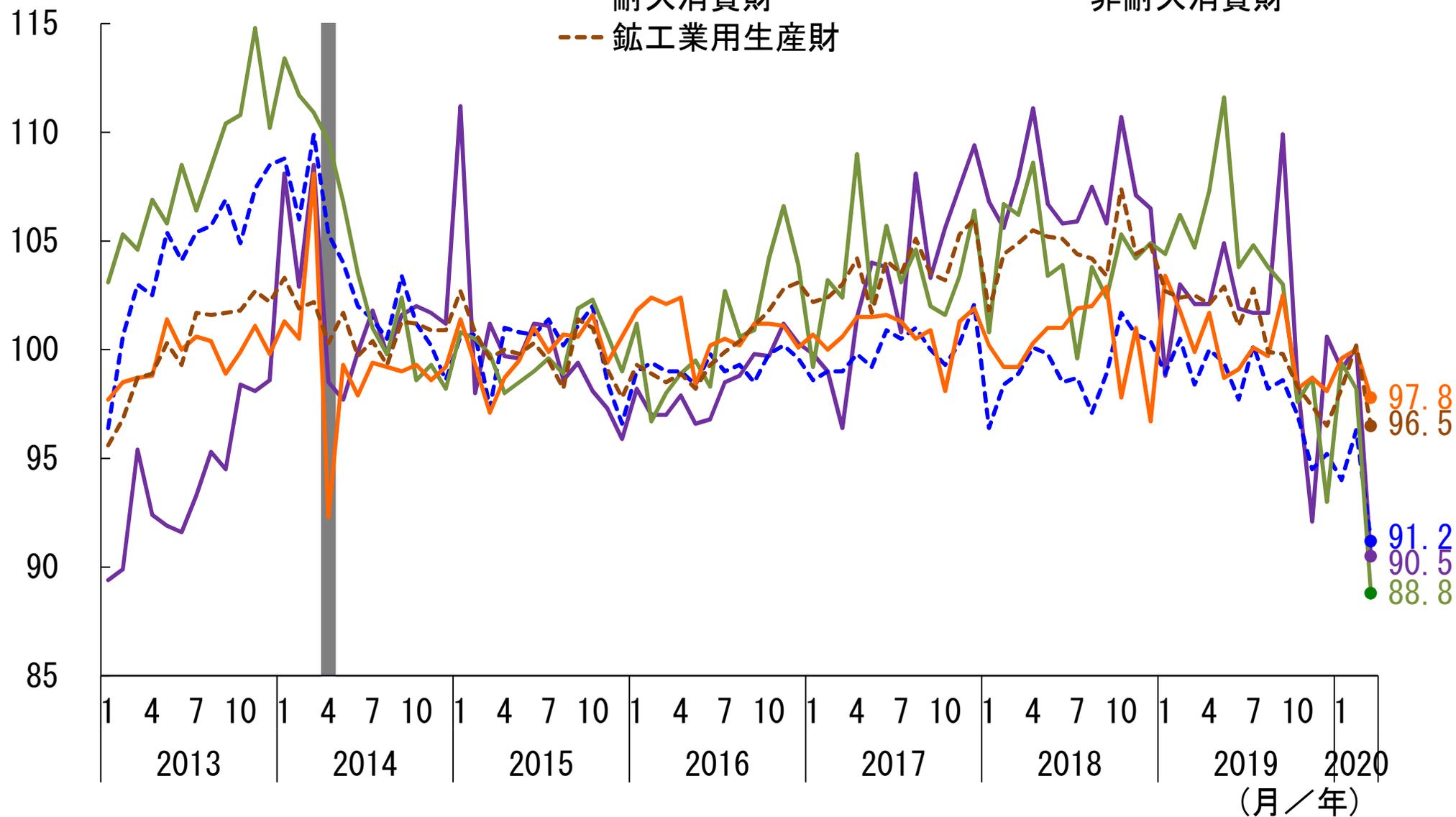
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年3月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	94.0 -5.0%	88.9 -14.5%	95.3 -2.1%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020.3 94.0 ②2019.11 96.8 ③2013.1 96.9	2015年基準最低水準 ①2020.3 88.9 ②2013.2 90.9 ③2013.1 92.7	2015年基準最低水準 ①2020.3 95.3 ②2019.10 96.7 ③2019.11 96.9
前月比の動き	4か月ぶりー (2019.11以来)	2か月ぶりー (2020.1以来)	5か月ぶりー (2019.10以来)
前月比幅	2014.4 -6.0%以来 ①2014.4 -6.0% ②2020.3 -5.0% ③2018.1 -4.5%	2015年基準最低水準 ①2020.3 -14.5% ②2015.2 -8.7% ③2017.1 -8.1%	2019.10 -5.7%以来 ①2014.4 -7.6% ②2018.1 -5.9% ③2019.10 -5.7%

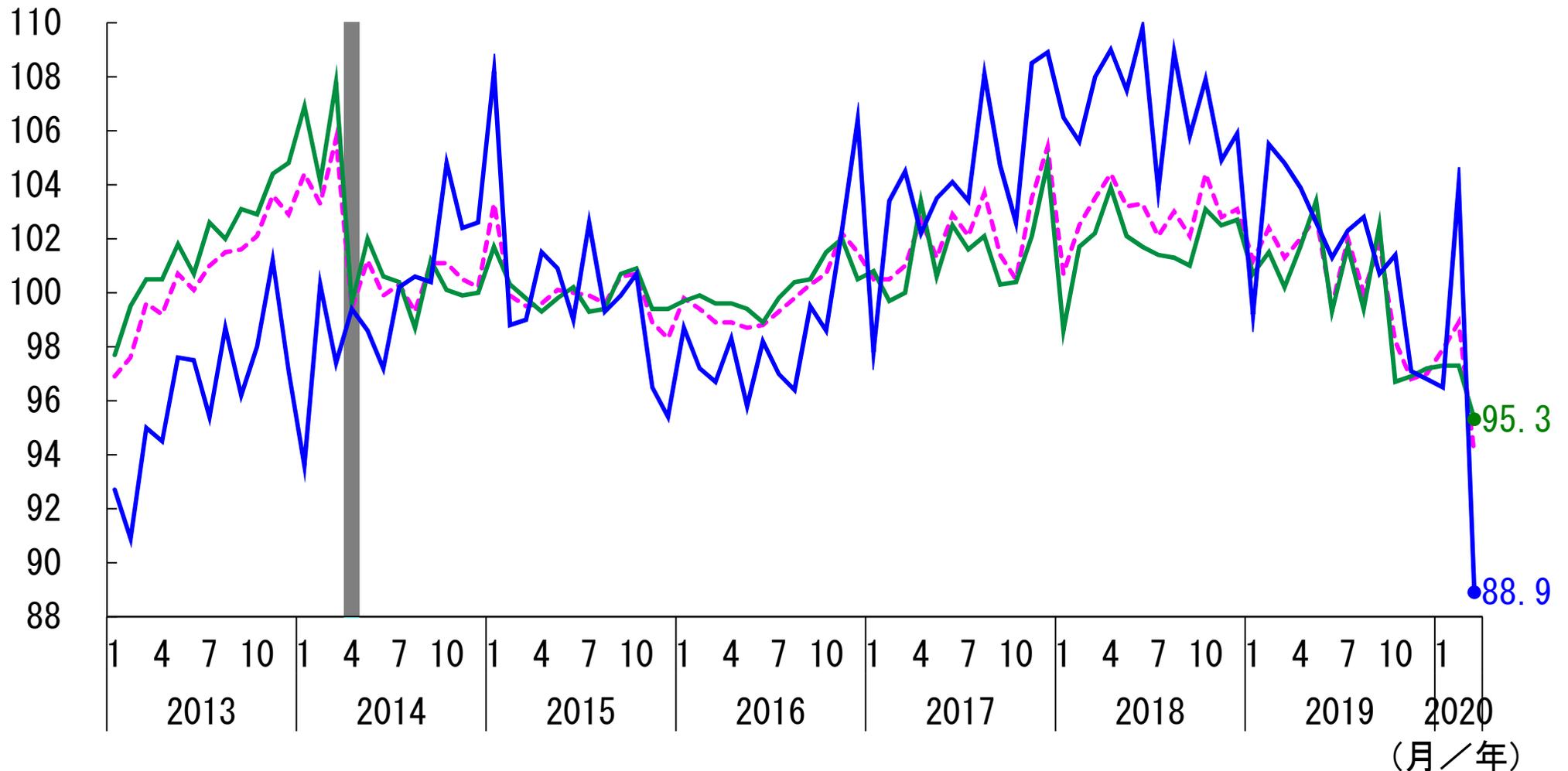
1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2020年3月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは95.3(前月比-2.1%)と5か月ぶりの低下、輸出向けは88.9(前月比-14.5%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鉱工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

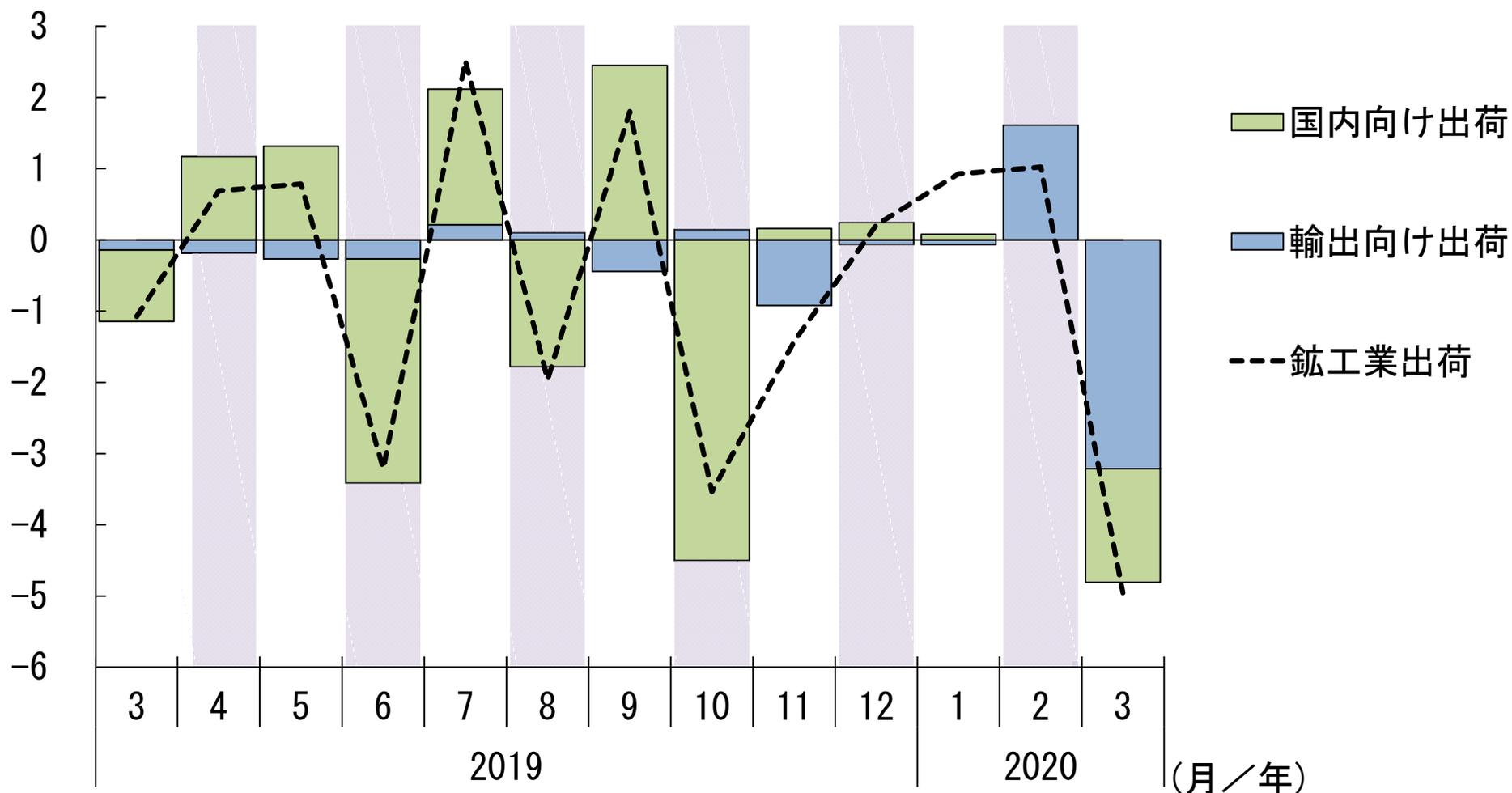


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年3月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比-5.0%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

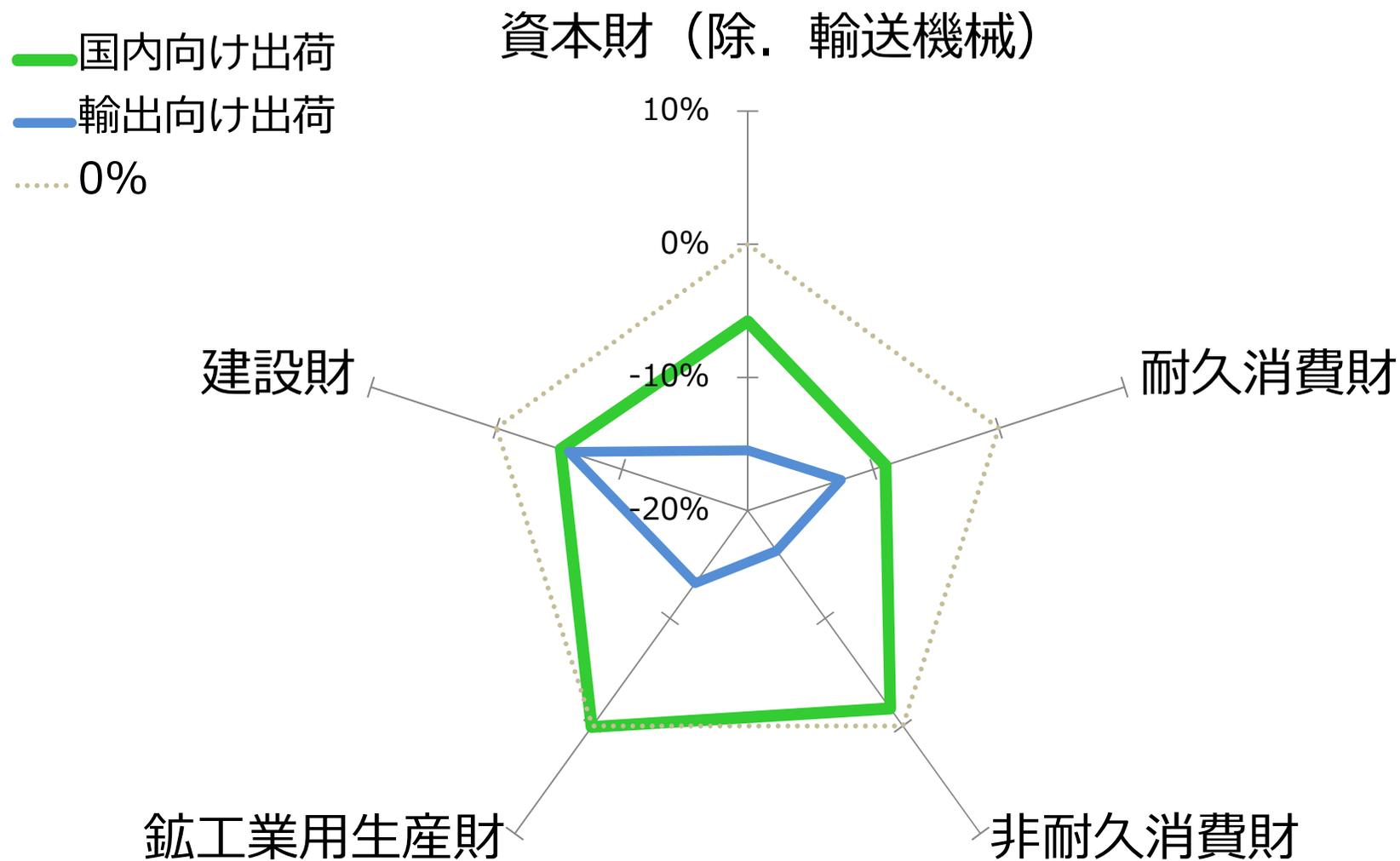


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-5.7	-3.47	-2.15
生産用機械工業	-13.1	-4.67	-8.18
汎用・業務用機械工業	-4.5	-1.42	-3.02
電気・情報通信機械工業	-3.0	0.42	-3.87
輸送機械工業	-4.3	1.06	-6.47
化学工業(除. 医薬品)	-6.1	-3.86	-1.43

財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-3.7	0.08	-3.39
資本財(除. 輸送機械)	-9.6	-3.63	-5.68
建設財	-5.3	-4.76	-0.40
耐久消費財	-9.6	-6.77	-3.17
非耐久消費財	-2.2	-1.56	-0.74

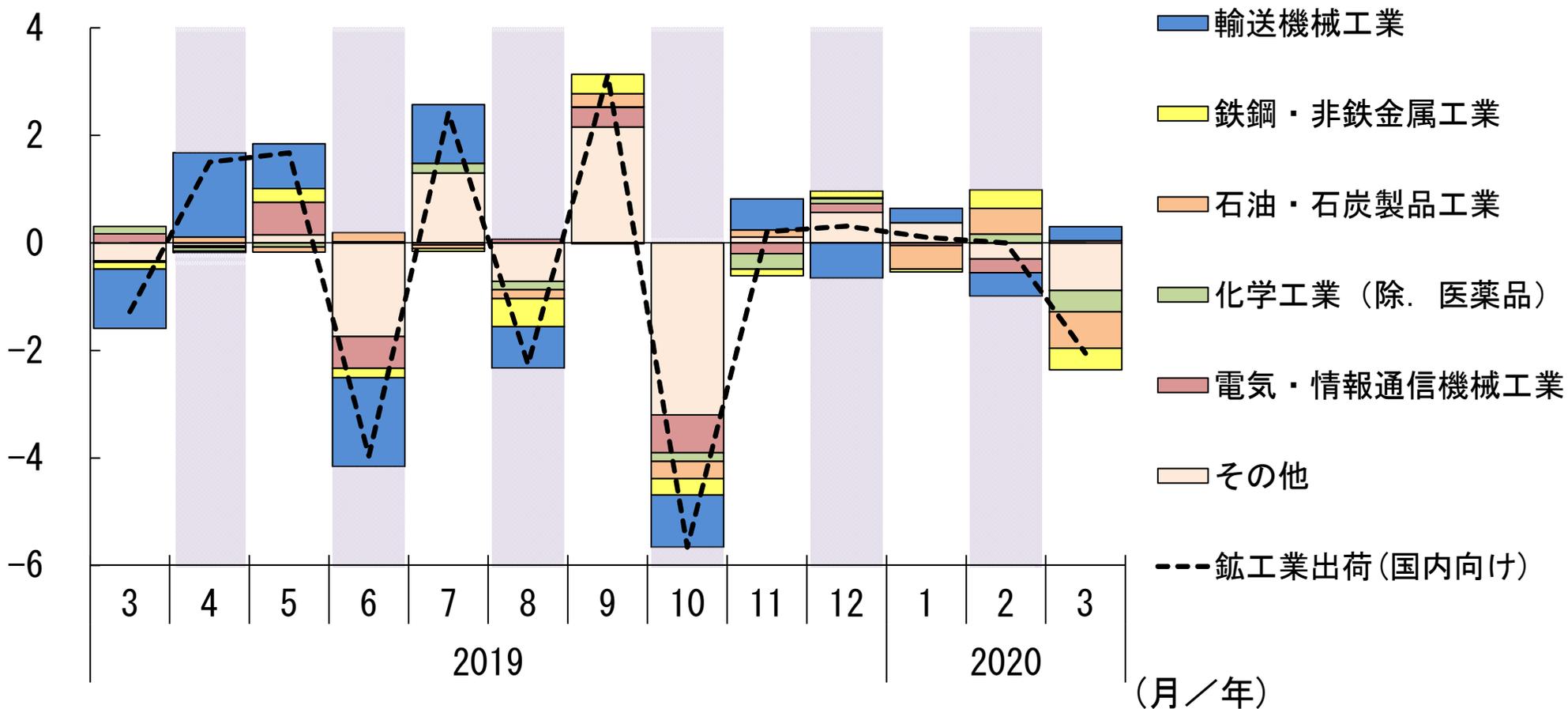
国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年3月)



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年3月の国内向け出荷を主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇したものの、石油・石炭製品工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



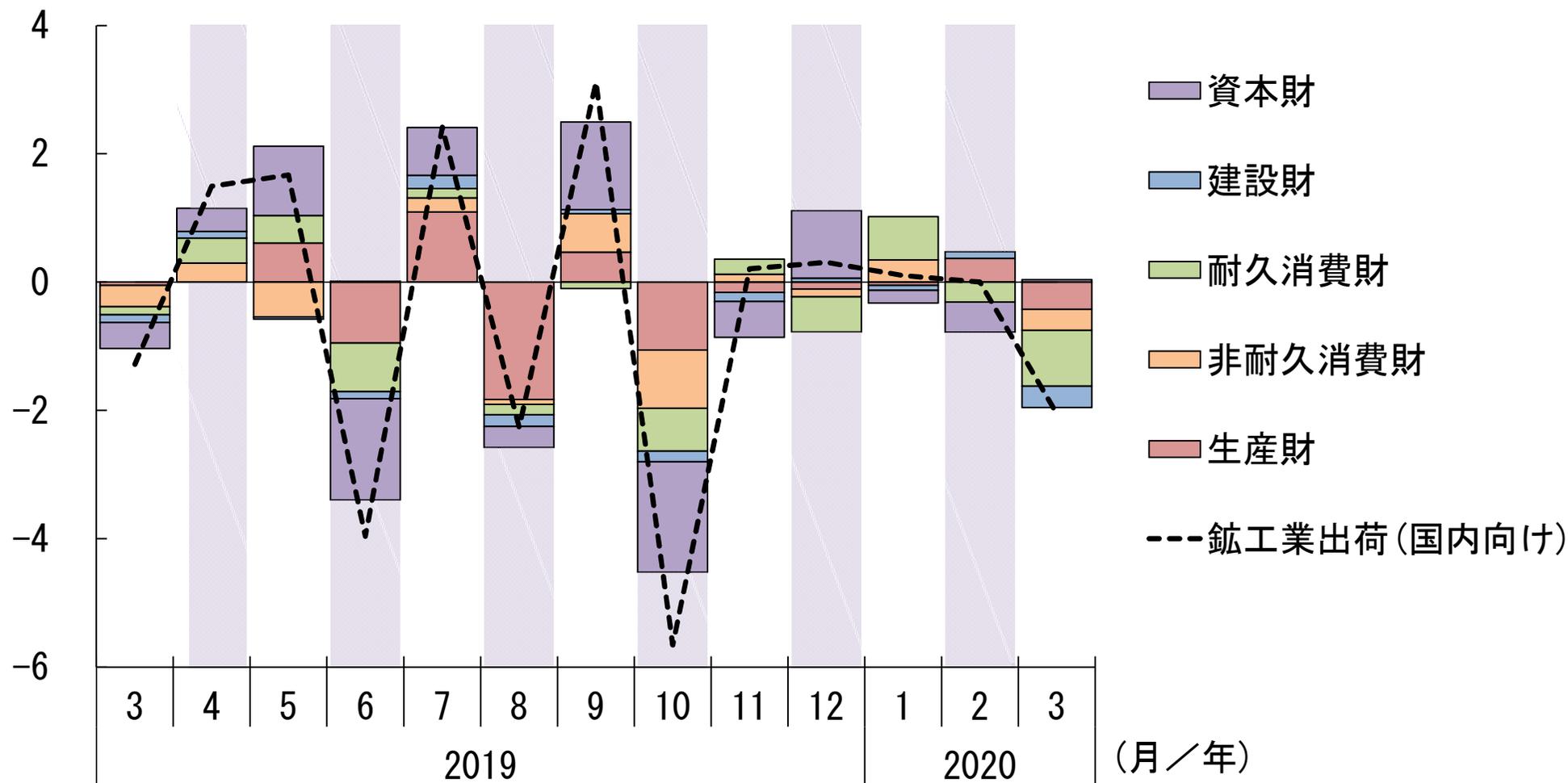
(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年3月の国内向け出荷を財別にみると、資本財が上昇したものの、耐久消費財などが低下。

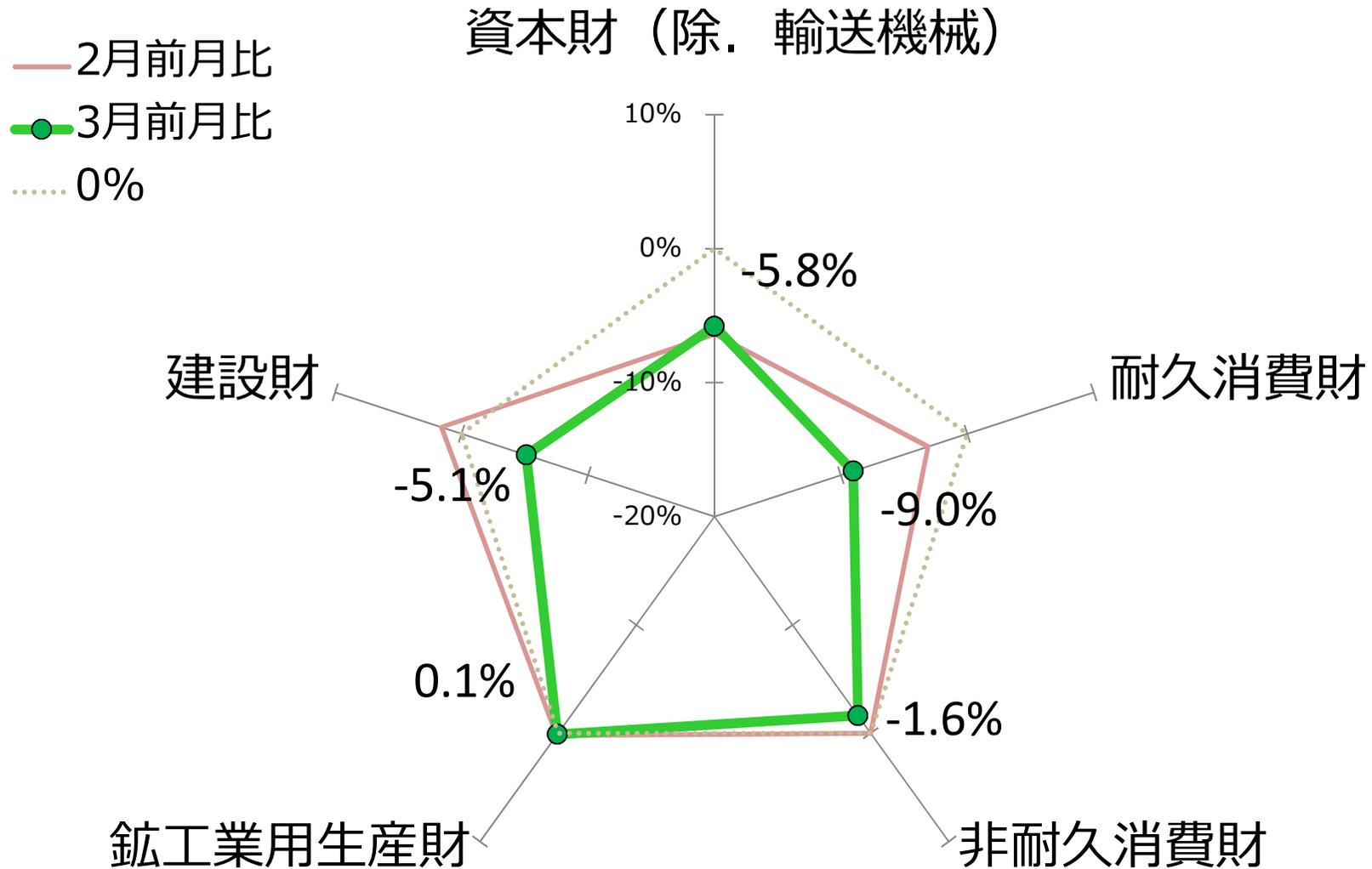
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年3月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

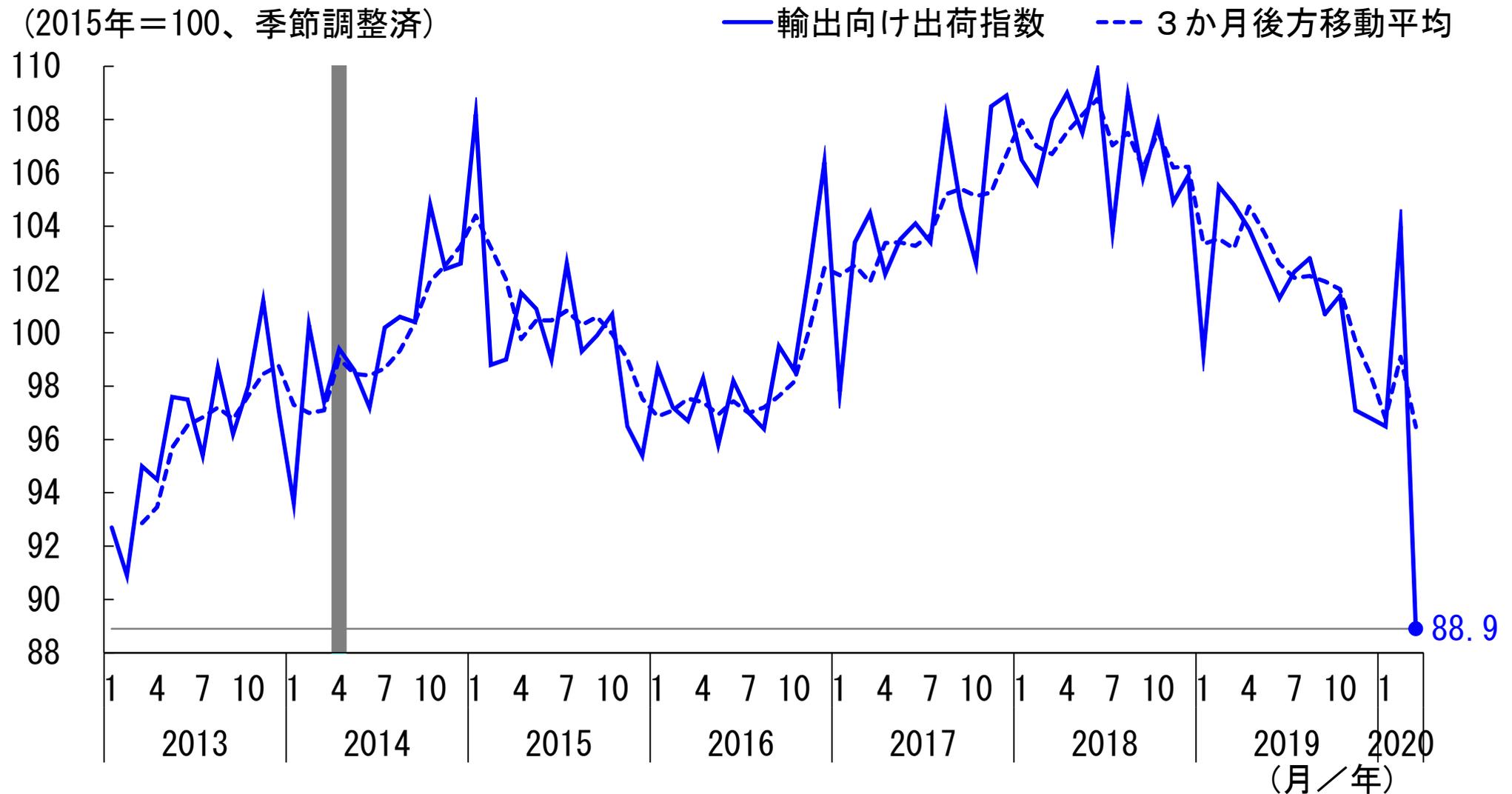
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-2.1	—
耐久消費財	-9.0	-0.87
資本財(除. 輸送機械)	-5.8	-0.55
その他用生産財	-6.2	-0.50
建設財	-5.1	-0.33
非耐久消費財	-1.6	-0.33
鉱工業用生産財	0.1	0.04

国内向け財別出荷指数前月比の比較(2020年2月、3月)



輸出向け出荷指数の動向

・ 2020年3月の輸出向け出荷指数は88.9 (前月比-14.5%) と2か月ぶりの低下。

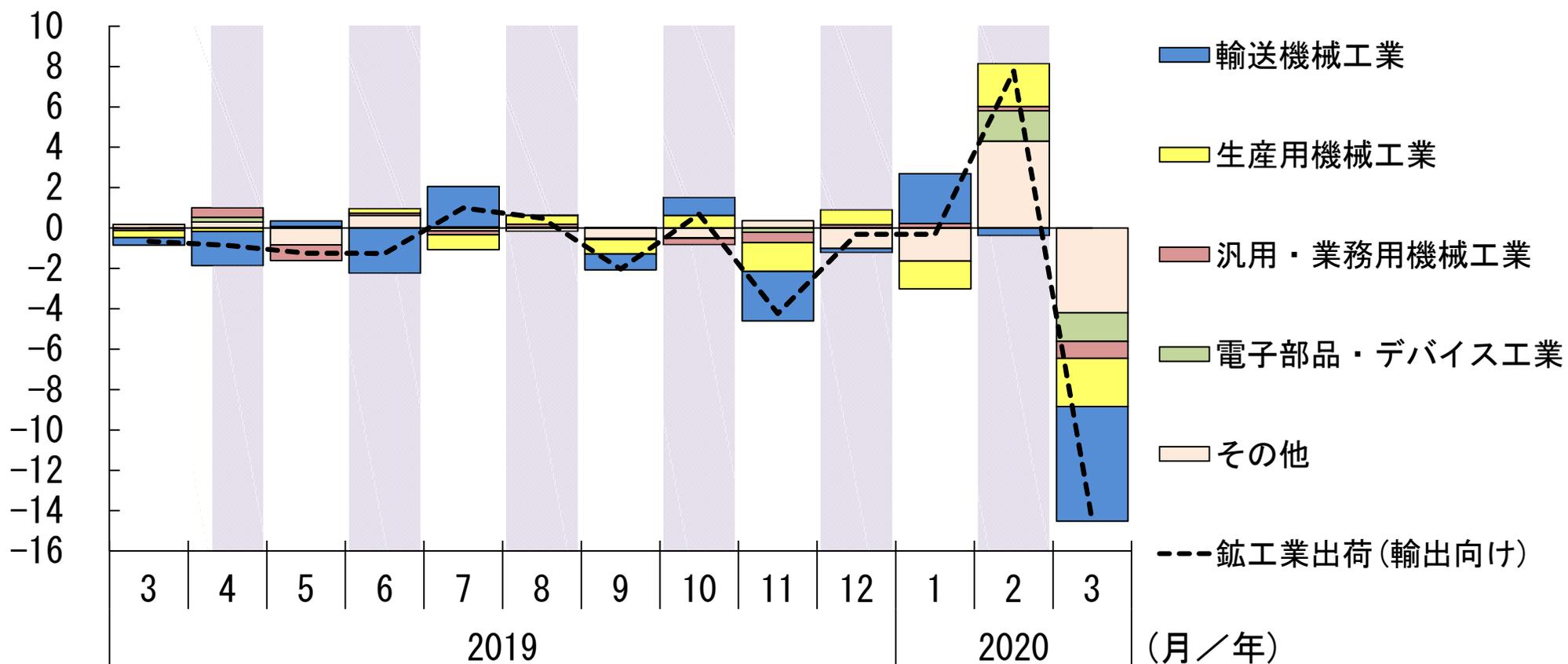


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年3月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

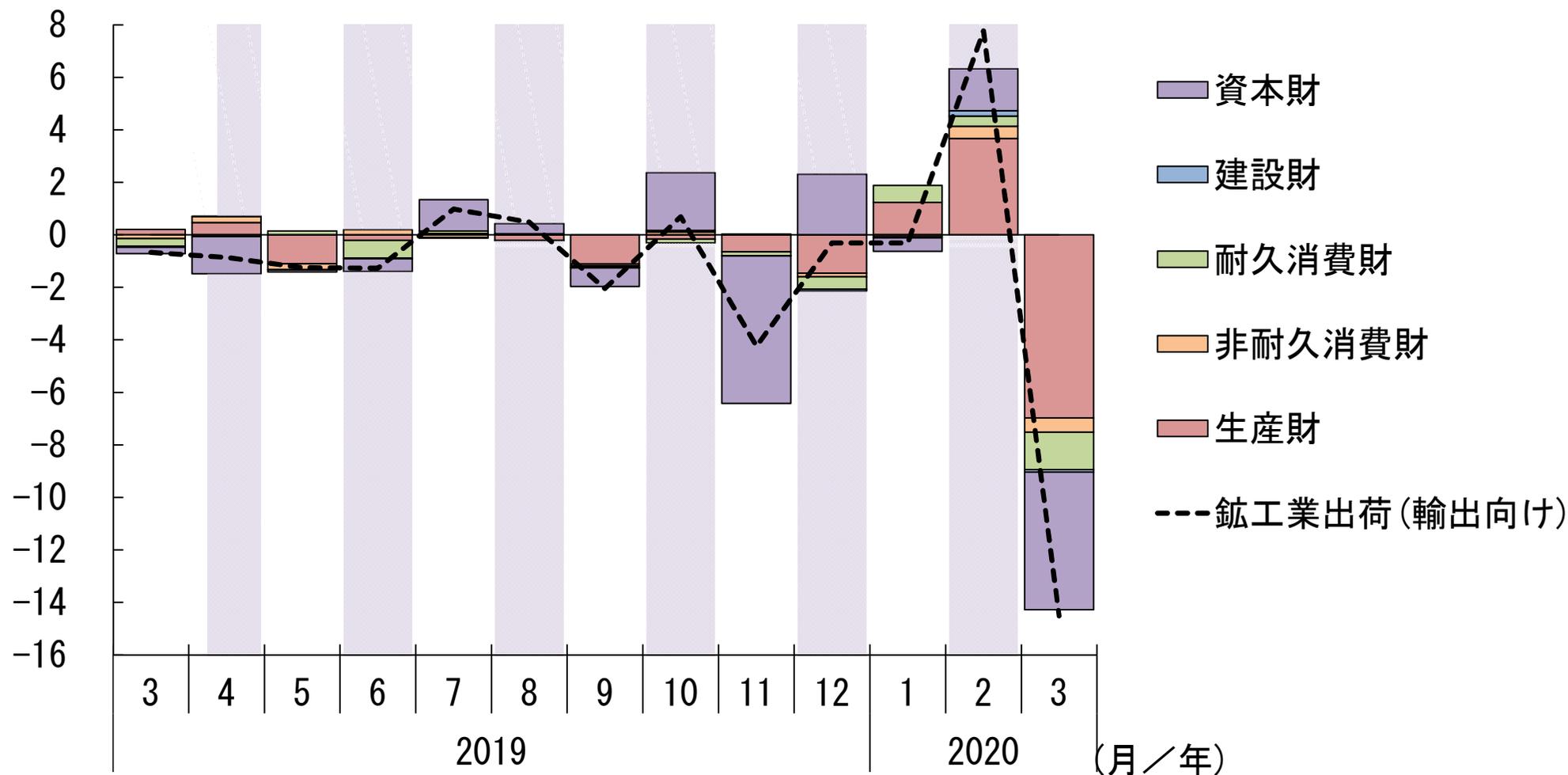


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年3月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財などが低下。

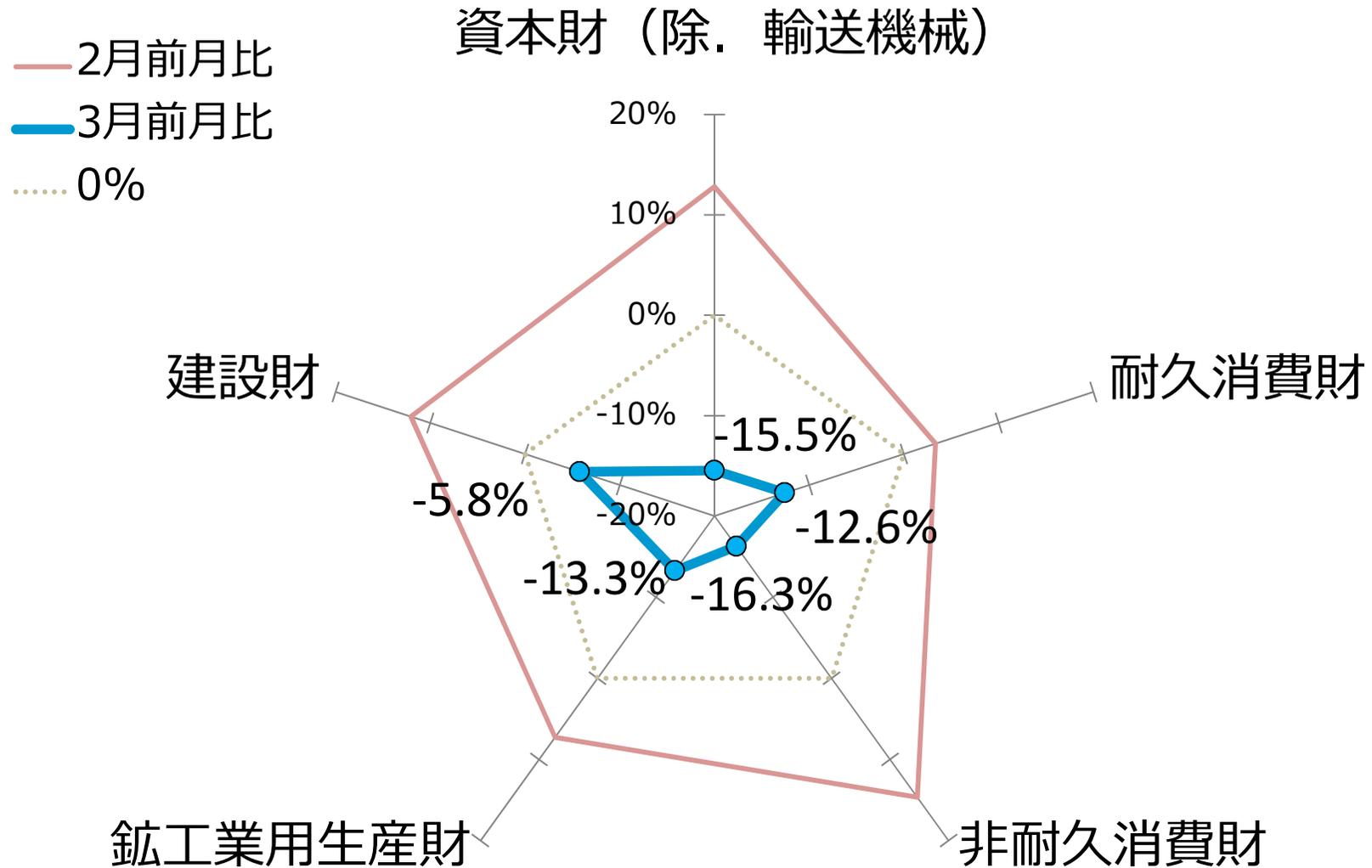
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年3月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-14.5	—
鉱工業用生産財	-13.3	-6.99
資本財(除. 輸送機械)	-15.5	-3.00
耐久消費財	-12.6	-1.43
非耐久消費財	-16.3	-0.54
建設財	-5.8	-0.10
その他用生産財	0.3	0.01

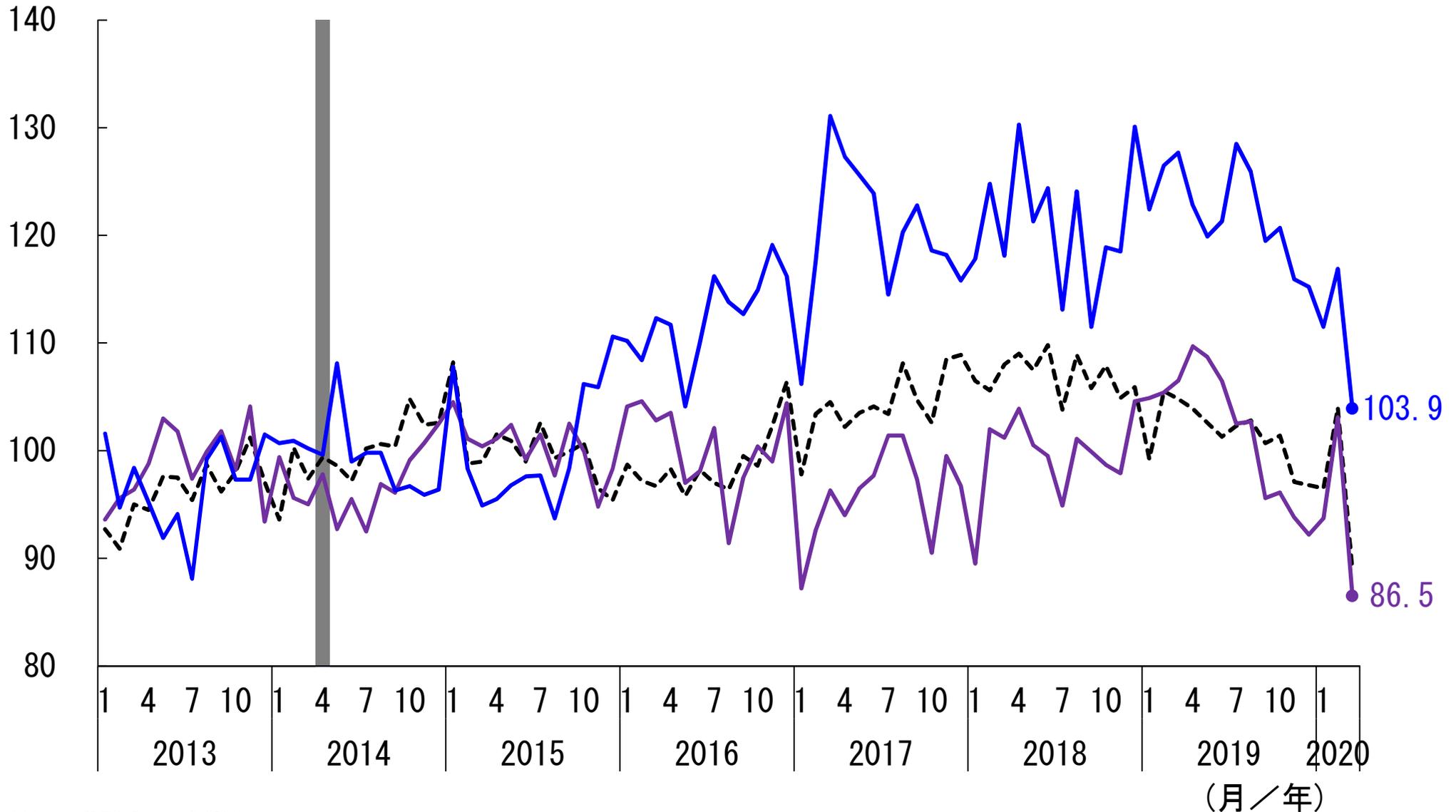
輸出向け財別出荷指数前月比の比較(2020年2月、3月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

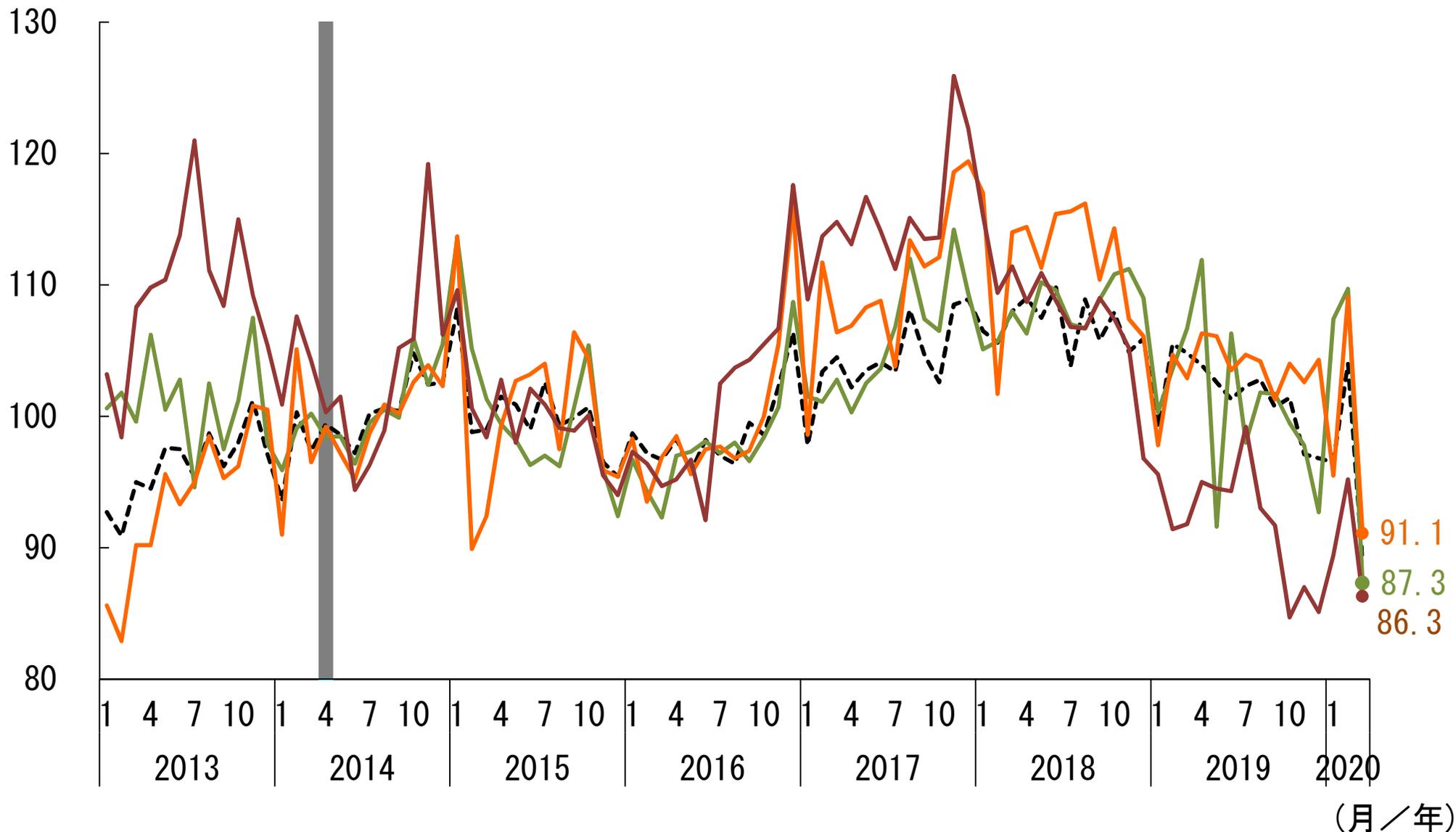
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

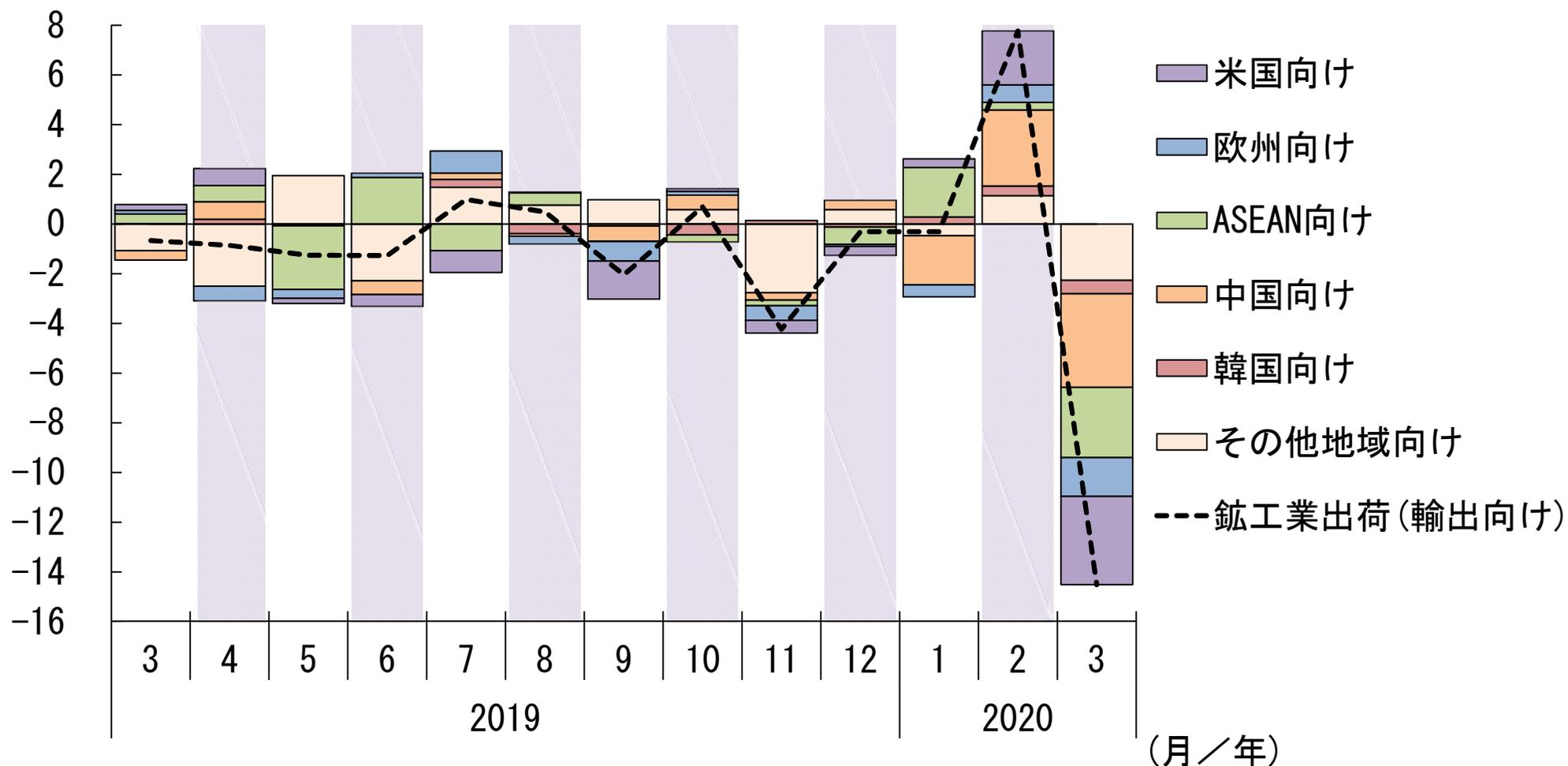


(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2020年3月の輸出向け出荷を地域別にみると、中国、米国向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年3月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	95.9 1.7%	95.6 -2.0%	97.0 14.3%
指数水準	2020.1 97.4以来 I 2014.3 108.3 II 2014.1 105.9 III 2017.12 105.0	2015年基準最低水準 ①2020.3 95.6 ②2019.10 96.9 ③2019.11 97.0	2020.1 98.1以来 I 2014.3 110.2 II 2018.10 105.2 III 2014.1 105.0
前月比の動き	3か月ぶり+ (2019.12以来)	5か月ぶり- (2019.10以来)	3か月ぶり+ (2019.12以来)
前月比幅	2019.9 3.7%以来 I 2014.3 5.0% II 2019.9 3.7% III 2014.9, 2018.10 3.6%	2019.10 -5.6%以来 ①2014.4 -7.7% ②2018.1 -5.8% ③2019.10 -5.6%	2015年基準最高水準 I 2020.3 14.3% II 2014.3 9.8% III 2018.7 7.1%

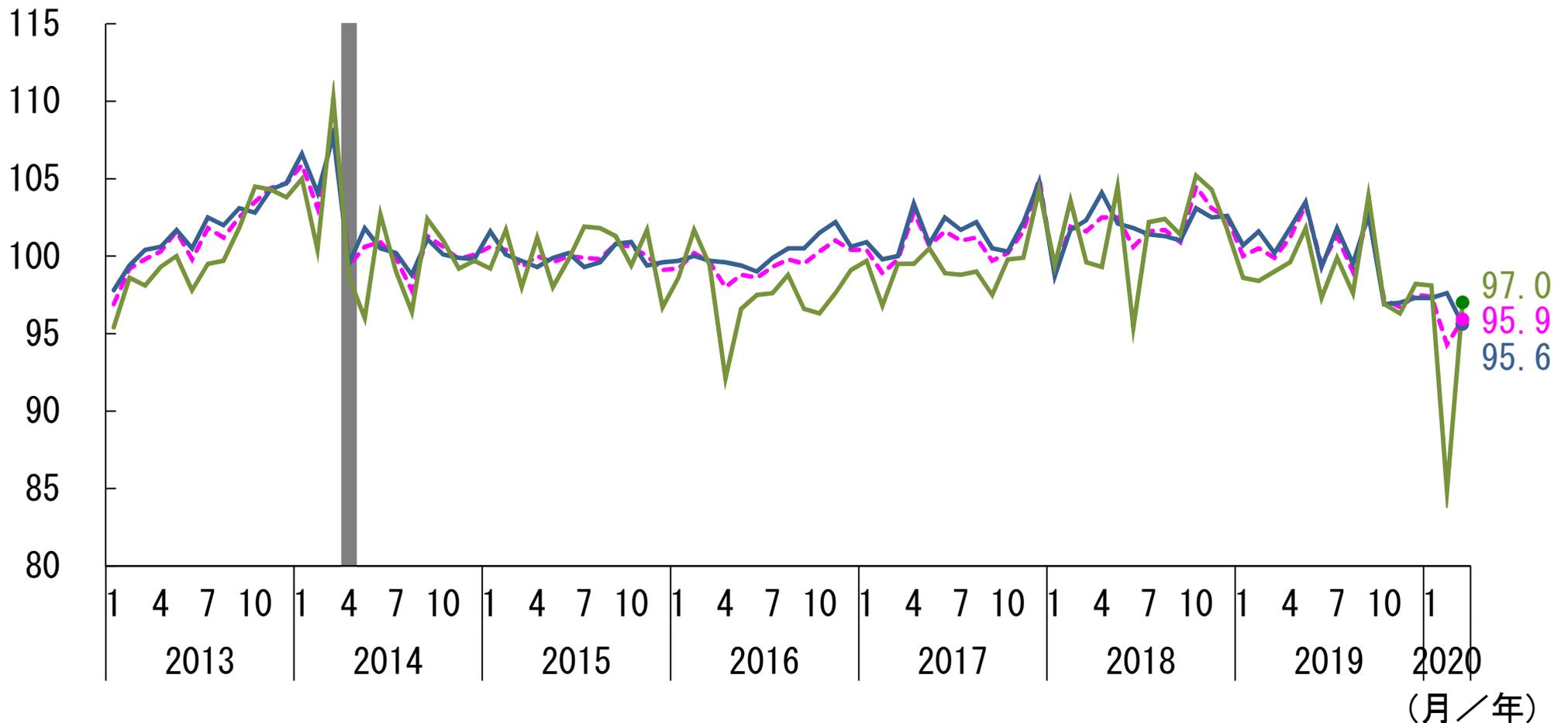
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

・2020年3月の鉍工業総供給指数は95.9(前月比1.7%)と3か月ぶりの上昇。
 ・内訳をみると、国産は95.6(前月比-2.0%)と5か月ぶりの低下、輸入は97.0(前月比14.3%)と3か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

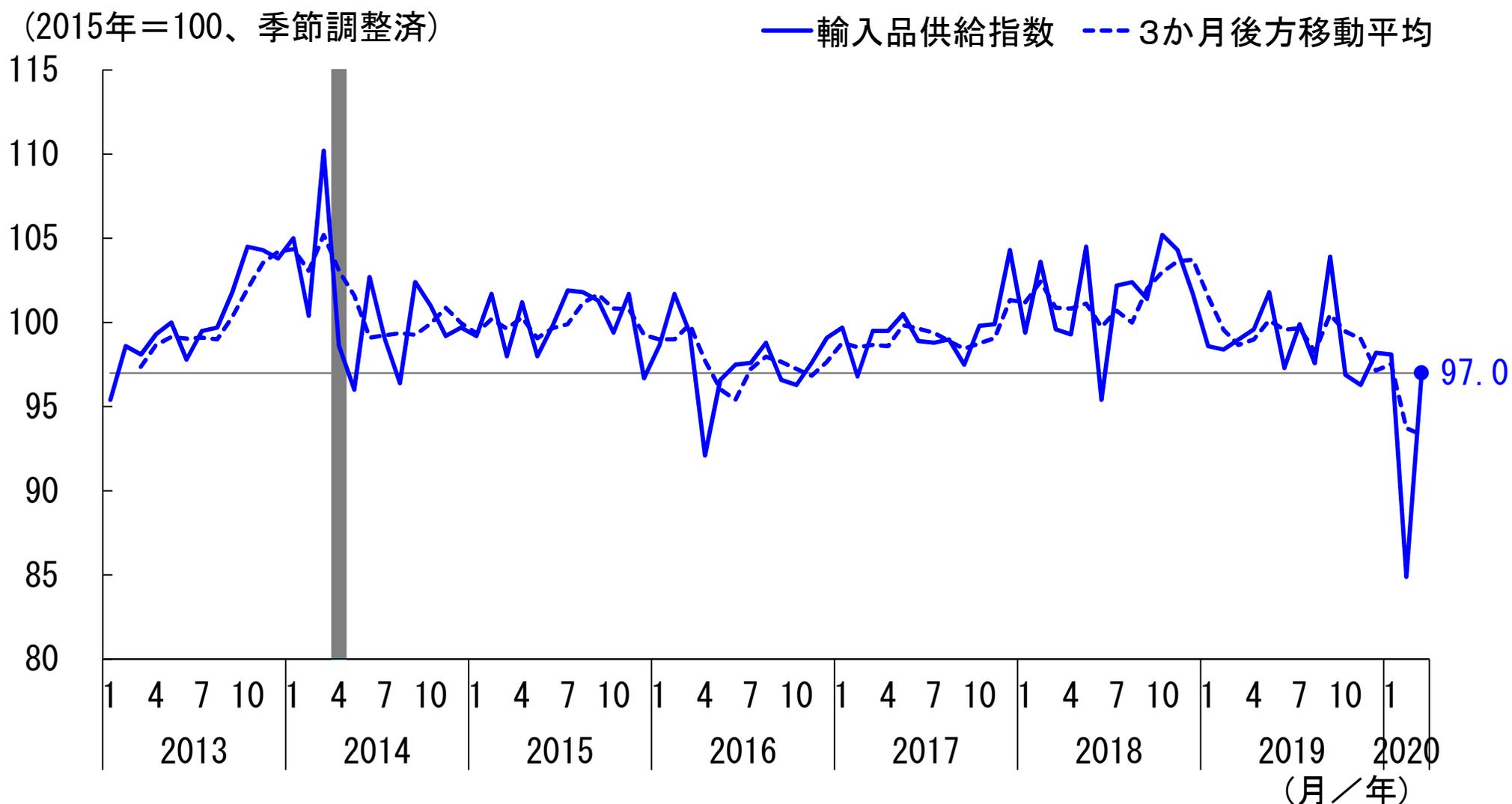
--- 鉍工業総供給 — 国産 — 輸入



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸入品供給指数の動向

・ 2020年3月の輸入品供給指数は97.0 (前月比14.3%) と3か月ぶりの上昇。



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年1-3月期の鋳工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

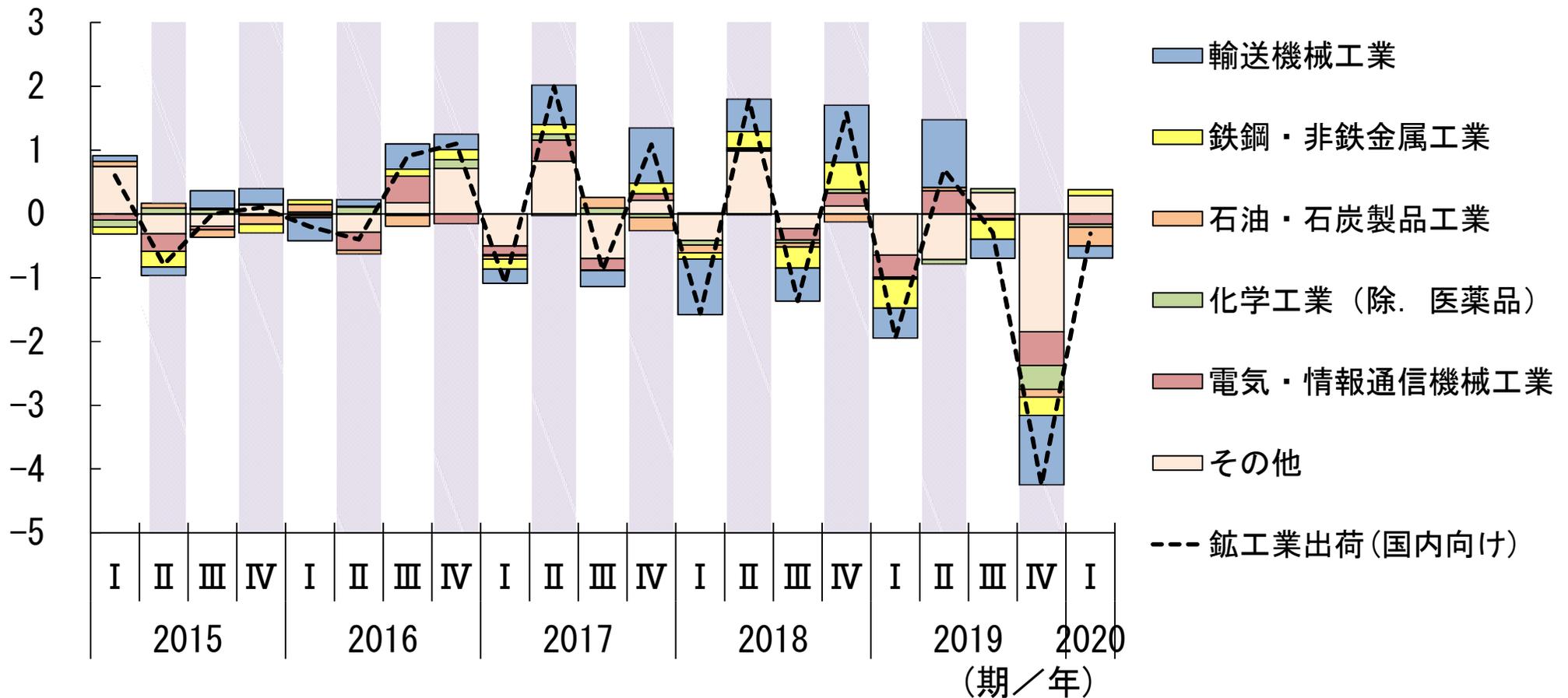
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前期比	96.9 -0.4%	96.5 -1.9%	96.6 -0.3%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020 I 96.9 ②2019IV 97.3 ③2013 I 98.0	2013 II 96.5以来 (超)2013 I 92.9以来 ①2013 I 92.9 ②2013 II, 2020 I 96.5 ③2013 III 96.8	2015年基準最低水準 ①2020 I 96.6 ②2019IV 96.9 ③2013 I 99.2
前期比の動き	5期連続— (2019 I ~ 当期)	5期連続— (2019 I ~ 当期)	3期連続— (2019 III ~ 当期)
前期比幅	2019IV -3.9%以来 ①2014 II -4.1% ②2019IV -3.9% ③2019 I -1.7%	2019IV -3.4%以来 ①2019IV -3.4% ②2015IV -3.1% ③2019 I -2.8%	2019IV -4.2%以来 ①2014 II -5.3% ②2019IV -4.2% ③2019 I -1.9%

1) ①~③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年1-3月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業などが上昇したものの、石油・石炭製品工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

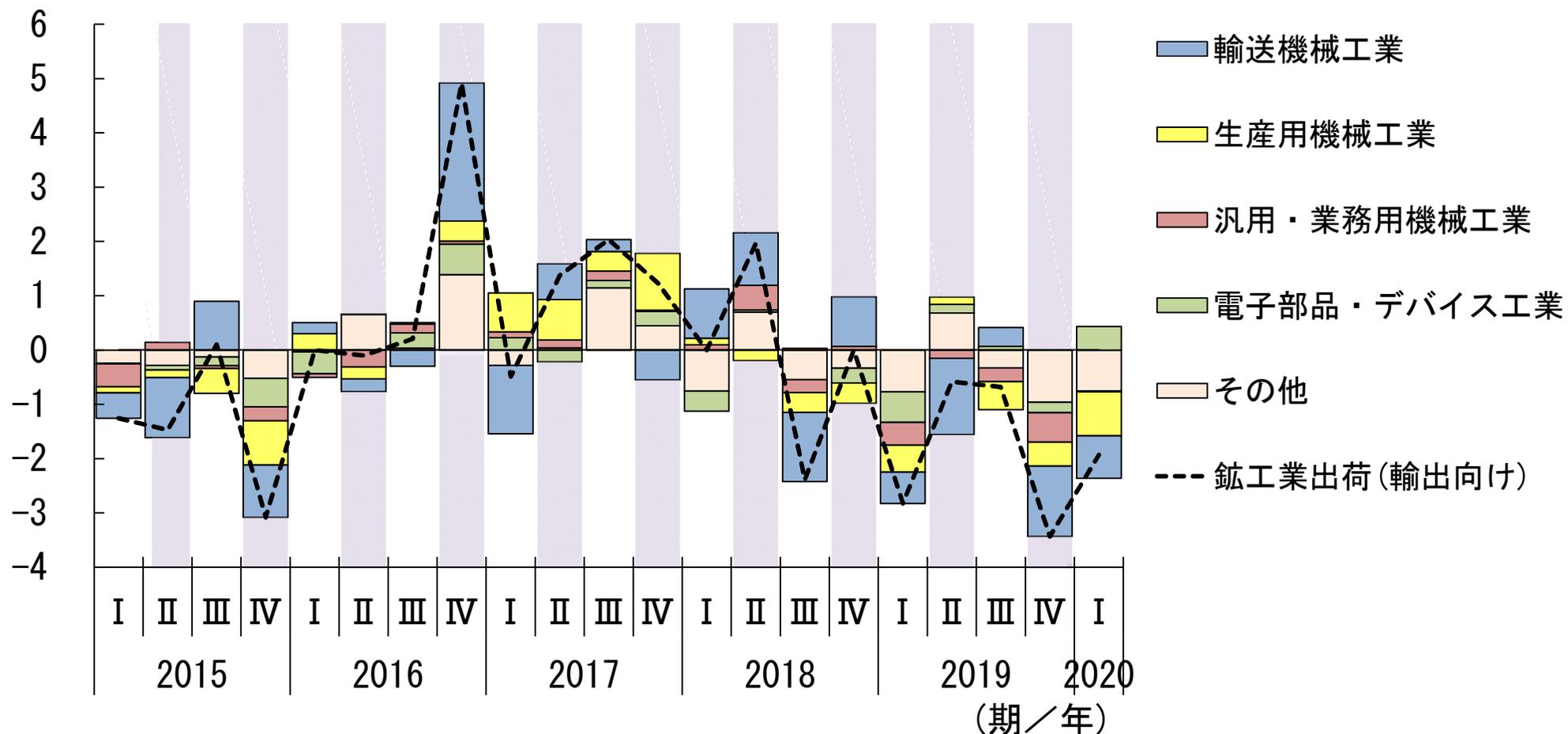


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年1-3月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業が上昇したものの、生産用機械工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

2019年度の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

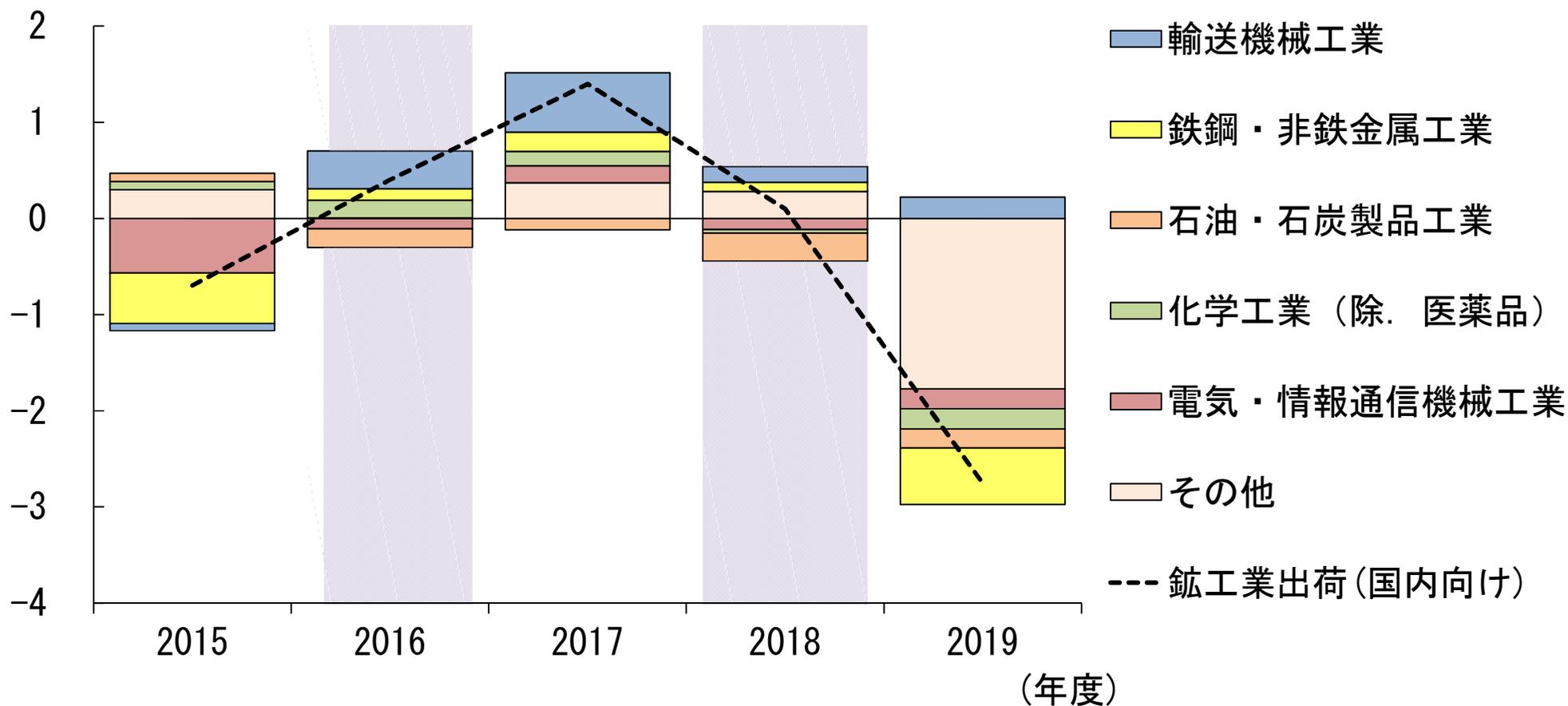
年度	出 荷	輸 出	国 内
原指数	98.9	99.2	98.9
前年度比	-3.6%	-6.5%	-2.8%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2019 98.9 ②2015 99.6 ③2016 100.2	2015 98.8以来 ①2013 97.4 ②2015 98.8 ③2019 99.2	2015年基準最低水準 ①2019 98.9 ②2015 99.8 ③2016 100.2
前年度比の動き	4年度ぶりー (2015以来)	4年度ぶりー (2015以来)	4年度ぶりー (2015以来)
前年度比幅	2015年基準最低水準 ①2019 -3.6% ②2014 -1.7% ③2015 -1.0%	2015年基準最低水準 ①2019 -6.5% ②2015 -2.3% ③ —	2014 -3.0%以来 ①2014 -3.0% ②2019 -2.8% ③2015 -0.7%

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

・ 2019年度の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、鉄鋼・非鉄金属工業などが低下。

(前年度比、%、%ポイント)

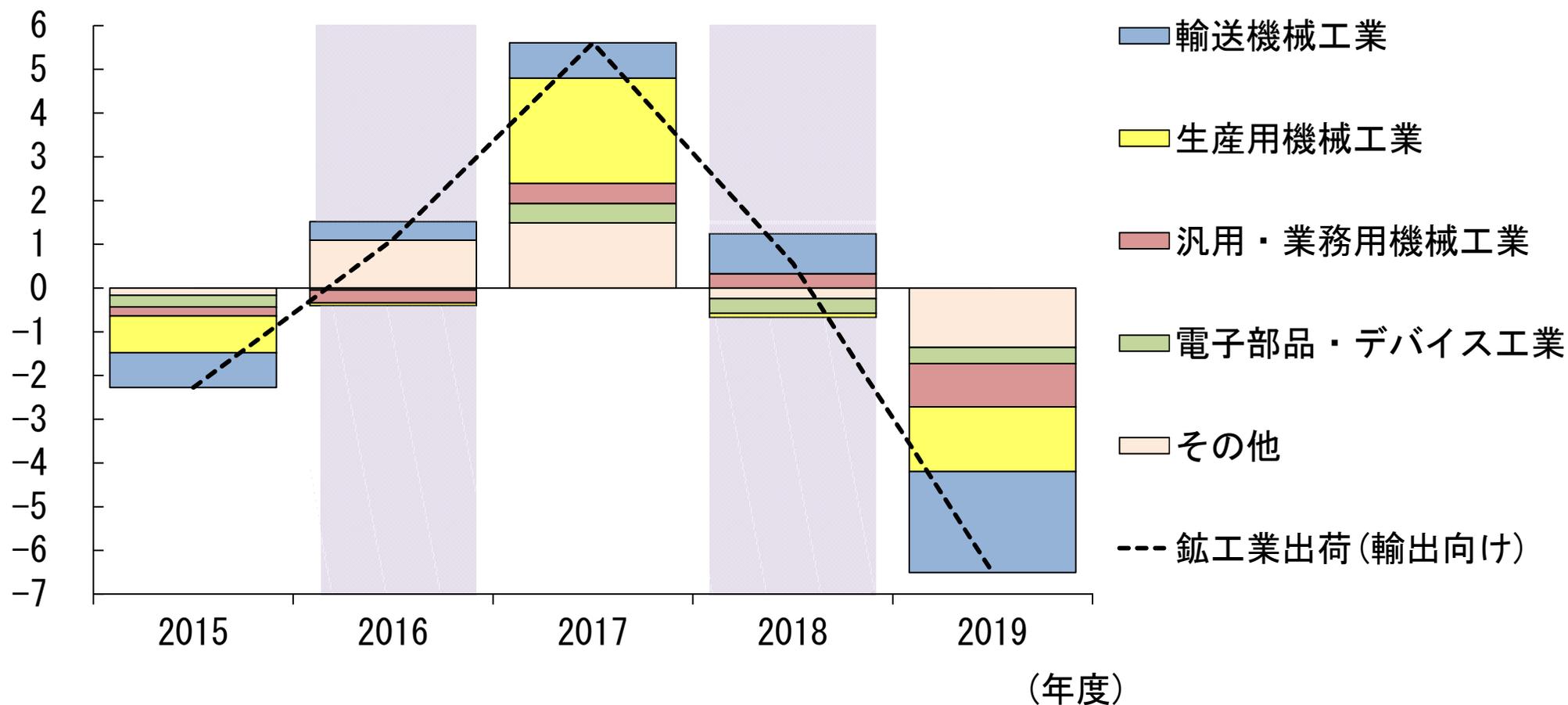


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業（除. 医薬品）(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

・ 2019年度の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年度比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。